

## インフルエンザ予防接種を受けるにあたっての注意事項

接種を受ける方は、予防接種の意味や副反応についての説明を受け、それを十分理解し、予診を受けたうえで同意しなければならないこととされています。（「インフォームド・コンセント(説明と同意)」）

また、予防接種法によって**予防接種を受けられない不適合者(表 1)**、**予防接種を受けるに際しての要注意者(表 2)**や**接種後の注意(表 3)**が示されております。

インフルエンザの流行を防ぐため、予防接種について皆様のご理解をいただき、予防接種を安全に実施いたしたく、よろしくご協力の程お願いいたします。

1. 対象者…当組合の被保険者および被扶養者の接種希望者  
(委託機関での実施については、中学生以下の被扶養者の接種はできません。)
2. 下記の表 1 から表 3 についてあらかじめお読みください。  
(各医療機関の注意事項も必ずご確認ください。)
3. 当日、医師により予防接種の可否について予診を行います。

表 1. 予防接種を受けられない人(不適合者)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 明かに発熱している人。<br/>(一般に 37.5℃以上の発熱の場合です。予診時に検温します。)</li><li>2. 重い急性な病気にかかっている場合。<br/>(①急性の病気で医師に受診中②かぜ症状がある時③下痢、嘔吐がある時などを避ける。健康状態が良好な時に接種を受けましょう。)</li><li>3. ワクチンの成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人。<br/>(アナフィラキシーとは、医薬品などによって引き起こされる急性の過敏反応です。ワクチンの成分によってアナフィラキシーを呈したことがある人はインフルエンザ予防接種を避けましょう。)</li><li>4. その他、予診で予防接種を行うことが不適切な状態と判断された場合。</li></ol> |
|---|

## 表 2. 予防接種を受けるに際し注意する人（要注意者）

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器や血液などの慢性の病気がある人。 （症状が強いつきは避けて、軽快期に医師と相談して行う。）</li><li>2. 前回の予防接種で、2日以内に高熱がでた人や全身性の発疹などアレルギー症状が見られた人。（前回のインフルエンザ予防接種後の状況が参考となります。）</li><li>3. 過去にけいれんを起こした人。 （てんかんなどけいれんを起こす病気の場合は担当医と相談する。）</li><li>4. 過去に免疫不全と診断された人。近親者に先天性免疫不全症の方がいる人。</li><li>5. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器疾患を有する人。</li><li>6. ワクチンの成分または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈するおそれのある人。</li><li>7. 妊娠中および授乳中の方</li></ol>
--

## 表 3. 予防接種を受けた後の注意

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 予防接種による異常反応がないか様子を見る。 （予防接種を受けた後、先ずその場所で観察すること。その後も検温などで様子を見て、高熱などの異常があったら、医師に相談する。一般にこの接種による副反応（副作用）は少なく軽微です。主な副反応として、「接種部位の発赤、はれ、痛み」が見られることがあるが、ふつう 2～3 日で消失する。）</li><li>2. 接種当日は激しい運動を避ける。 （予防接種は人工的に不活化した病原体を感染させることなので、当日は過激な運動を避け、なるべく安静にする。）</li><li>3. 接種当日の入浴は可能です。 （皮膚の接触部位をこすらず、清潔を保ち、もし発熱したら入浴をやめる。）</li></ol>
---